



2026年2月12日

各 位

会 社 名 株式会社 正興電機製作所
代表者名 代表取締役社長 添田英俊
(コード番号:6653 東証プライム・福証)
問合せ先 取締役経営統括本部長 田中 勉
(TEL 092-473-8831)

中期経営計画の最終年度（2026年度）計画値見直しに関するお知らせ

当社は、2022年2月9日に2022年12月期を初年度とする5ヶ年の中期経営計画（SEIKO IC2026）を公表し、その計画達成へ向け取り組みを推進してまいりました。本日「2025年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて2026年12月期の連結業績予想を公表したとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、中期経営計画の最終年度にあたる2026年12月期の計画値を下記のとおり見直すことといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 見直しの内容

中期経営計画 連結財務数値

(単位：百万円)

	前 SEIKO IC2021	SEIKO IC2026			
	2021年12月期	2026年12月期			
	実績	当初計画	増加率	見直し後	増加率
受注高	26,994	43,000	59.3%	43,000	59.3%
売上高	24,596	40,000	62.6%	36,000	46.4%
営業利益	1,406	3,600	156.0%	3,000	113.4%
営業利益率	5.7%	9.0%	—	8.3%	—

2. 主な見直しの理由について

当社は、中期経営計画（SEIKO IC2026）の基本方針である「企業活動・事業活動を通じた社会課題解決により、サステナブルな社会の実現に貢献する」のもと、「デジタル技術を活用した社会課題解決」「カーボンニュートラルへの取り組み」「One 正興によるグループ総合力の発揮」の3つの重点施策に取り組んでまいりました。

電力部門および環境エネルギー部門を中心に、受注高、売上高、営業利益はいずれも増加しており、特に受注高については、AI データセンターおよび蓄電所関連が増加し、当初計画どおりの水準を見込んでおります。

一方で、売上高および営業利益につきましては、受注の取り込み時期が遅れたことにより、売上高増加率は62.6%から46.4%、営業利益増加率は156.0%から113.4%にとどまる見通しとなりました。

以上の状況から、中期経営計画最終年度である2026年12月期の計画値について、売上高36,000百万円、営業利益3,000百万円、営業利益率8.3%へ見直すことといたしました。

(注) 本資料に記載されている業績等の予想数値につきましては、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上